



2024年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

2024年8月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年11月期第2四半期 | 32,962 | 6.7 | 660 | 74.4 | 692 | 74.3 | 1,645 | |
| 2023年11月期第2四半期 | 35,314 | 8.6 | 2,578 | 45.1 | 2,691 | 46.0 | 1,565 | 47.5 |

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 377百万円 (%) 2023年11月期第2四半期 2,389百万円 (42.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年11月期第2四半期 | 103.12 | |
| 2023年11月期第2四半期 | 97.50 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年11月期第2四半期 | 74,733 | 42,594 | 49.9 | 2,383.33 |
| 2023年11月期 | 76,371 | 44,041 | 50.8 | 2,416.67 |

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 37,312百万円 2023年11月期 38,801百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年11月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年11月期 | | 30.00 | | 25.00 | 55.00 |
| 2024年11月期(予想) | | 22.50 | | 22.50 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 72,000 | 1.7 | 2,800 | 40.5 | 3,000 | 40.2 | 1,800 | 36.5 | 112.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年11月期2Q | 17,339,200 株 | 2023年11月期 | 17,339,200 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年11月期2Q | 1,683,586 株 | 2023年11月期 | 1,283,586 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年11月期2Q | 15,959,439 株 | 2023年11月期2Q | 16,055,614 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年12月1日～2024年5月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化、不安定な為替相場、資源・エネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築費高騰や物価上昇、職人不足などの影響から持家を中心に住宅需要の低迷が続いており、当第2四半期連結累計期間の新設住宅着工は、前年同期比で総戸数4.1%減、床面積6.6%減となりました。また、住宅着工の不振などを受け、合板の荷動きも低調に推移しており、引き続き各社で生産量や入荷量の調整が行われました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、労働生産性の向上や固定費のコントロール、原材料の見直し、配送効率の向上など各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、昨年4月に全面リニューアルした内装建材シリーズ「カナエル」の定着・拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、市場動向や製造・輸入原価に即した販売価格の設定と適正な在庫水準の維持をはかりながら、シェアの確保に努めました。しかし、住宅の着工減が響き販売量が伸び悩むなか、原材料・副資材コストは引き続き高水準で推移し、さらに、物流コストの上昇や国産針葉樹合板の販売価格低下なども利益の圧迫要因となり、収益性は低下いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高32,962百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益660百万円(前年同期比74.4%減)、経常利益692百万円(前年同期比74.3%減)となりました。また、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失1,645百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,565百万円)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

内装建材シリーズ「カナエル」をてこに、意匠性や省施工など多様なニーズに応える高付加価値製品の提案活動を継続することによって、新築戸建市場における需要の掘り起こしに取り組むとともに、充実したラインナップの防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」等の拡販にも引き続き注力することによって、比較的堅調な貸家市場や、リフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進し、シェアの確保に努めました。

MDFについては、相次ぐ地震災害や国・自治体によるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進を踏まえ、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案強化を引き続き推進いたしました。

しかしながら、住宅の着工減などの影響から建材・MDF製品全般について販売量が回復しないなか、生産調整の継続や高水準で推移する原材料・副資材価格などが利益を圧迫いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は19,613百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益は121百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

〔合板事業〕

合板については、国産・輸入いずれも需要の低迷により販売量が低水準で推移する厳しい状況が続きました。

国産針葉樹合板は、販売価格が値下がり傾向で推移するなか、依然として国内出荷量は低迷しており、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前期において港頭在庫の調整が進んだことから入荷量に持ち直しの動きが見られたものの、国内需要は依然として弱含みであり、販売価格は緩やかな値下がり傾向で推移いたしました。また、円安により仕入コストが高止まりとなる厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は13,349百万円(前年同期比8.3%減)、セグメント利益は1,450百万円(前年同期比56.2%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

| | 売上高(百万円) | 前年同期比(%) | 構成比(%) | セグメント利益(百万円) | 前年同期比(%) |
|--------|----------|----------|--------|--------------|----------|
| 住宅建材事業 | 19,613 | △5.5 | 59.5 | 121 | △31.4 |
| 合板事業 | 13,349 | △8.3 | 40.5 | 1,450 | △56.2 |
| 調整額※ | — | — | — | △910 | — |
| 合計 | 32,962 | △6.7 | 100.0 | 660 | △74.4 |

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は74,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,637百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加333百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,821百万円、製品の減少273百万円、原材料及び貯蔵品の減少158百万円、建設仮勘定など有形固定資産の増加591百万円、投資有価証券の増加1,328百万円、繰延税金資産の減少1,368百万円などによるものです。

負債は32,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,666百万円、未払金の減少139百万円、長期借入金の増加1,080百万円、その他に含まれる繰延税金負債の増加680百万円などによるものです。

純資産は42,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,446百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少1,645百万円及び配当による利益剰余金の減少401百万円、その他有価証券評価差額金の増加848百万円などによるものです。

◇キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し、22,678百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が614百万円となり、減価償却費の計上による981百万円の増加、売上債権の減少による1,820百万円の増加、棚卸資産の減少による370百万円の増加、仕入債務の減少による1,688百万円の減少などの要因から、1,925百万円の収入(前年同期は14百万円の収入)となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、設備投資など有形固定資産の取得による1,400百万円の減少などの要因から、1,466百万円の支出(前年同期は2,178百万円の支出)となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長期借入れによる1,800百万円の増加、長期借入金の返済による520百万円の減少、配当金の支払いによる401百万円の減少、自己株式の取得による468百万円の減少などの要因から、122百万円の支出(前年同期は998百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期第2四半期連結累計期間の業績は、前回(本年1月15日)公表した予想値に対し、売上高・利益とも下回る結果となりました。

第3四半期以降の取り組みとして、「カナエル」や「HBW」の拡販に引き続き注力するとともに、比較的堅調な貸家市場やリフォーム・リノベーション市場向けにも高付加価値製品の提案を一層強化、物流コスト上昇等を受け一部建材製品の販売価格改定、合板市況の動向を見極めた適切な価格設定と販売量の確保などにより売上高の回復を目指します。また、引き続き原材料の見直しや生産・配送効率の向上、経費削減を徹底し、業績の改善に努めてまいります。

なお、通期業績予想については、住宅需要に回復の兆しが見えないなか、下落基調が続く国内合板相場の見通しが立たず、また、不安定な為替相場など先行きは依然として不透明であるため、現時点では修正せず、前回公表した予想を据え置いております。今後、これらの動向を見定めたうえで速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,743,257 | 23,076,879 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 12,091,582 | 10,270,221 |
| 製品 | 8,235,777 | 7,961,987 |
| 仕掛品 | 1,581,170 | 1,642,104 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,475,991 | 3,317,327 |
| その他 | 674,131 | 462,632 |
| 流動資産合計 | 48,801,910 | 46,731,152 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,166,527 | 3,272,174 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,075,198 | 4,883,045 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 403,398 | 374,155 |
| 土地 | 6,264,430 | 6,280,181 |
| 立木 | 124,806 | 123,119 |
| リース資産(純額) | 286,185 | 325,632 |
| 建設仮勘定 | 799,389 | 1,452,641 |
| 有形固定資産合計 | 16,119,936 | 16,710,949 |
| 無形固定資産 | 540,335 | 428,637 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,619,860 | 9,948,043 |
| 繰延税金資産 | 1,513,163 | 144,774 |
| その他 | 778,194 | 772,005 |
| 貸倒引当金 | △2,000 | △2,000 |
| 投資その他の資産合計 | 10,909,218 | 10,862,824 |
| 固定資産合計 | 27,569,490 | 28,002,411 |
| 資産合計 | 76,371,401 | 74,733,564 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2023年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,298,001 | 9,631,971 |
| 短期借入金 | 7,466,065 | 7,491,297 |
| 未払金 | 1,874,533 | 1,735,190 |
| 賞与引当金 | - | 907,732 |
| 未払法人税等 | 196,885 | 421,403 |
| 設備関係支払手形 | 1,172,560 | 1,117,815 |
| その他 | 2,031,980 | 885,466 |
| 流動負債合計 | 24,040,027 | 22,190,877 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,861,090 | 2,941,310 |
| リース債務 | 421,527 | 376,252 |
| 環境対策引当金 | 13,073 | 12,812 |
| 長期未払金 | 69,420 | 44,860 |
| 退職給付に係る負債 | 5,914,475 | 5,882,140 |
| その他 | 10,750 | 690,866 |
| 固定負債合計 | 8,290,336 | 9,948,241 |
| 負債合計 | 32,330,363 | 32,139,118 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,141,000 | 2,141,000 |
| 資本剰余金 | 1,587,822 | 1,587,822 |
| 利益剰余金 | 34,071,064 | 32,023,918 |
| 自己株式 | △706,189 | △1,174,189 |
| 株主資本合計 | 37,093,696 | 34,578,551 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,604,878 | 2,453,839 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5,225 | 1,012 |
| 為替換算調整勘定 | 378,674 | 515,009 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △270,870 | △235,857 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,707,457 | 2,734,002 |
| 非支配株主持分 | 5,239,883 | 5,281,891 |
| 純資産合計 | 44,041,037 | 42,594,445 |
| 負債純資産合計 | 76,371,401 | 74,733,564 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 35,314,471 | 32,962,980 |
| 売上原価 | 26,140,972 | 25,865,479 |
| 売上総利益 | 9,173,498 | 7,097,500 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,594,558 | 6,436,598 |
| 営業利益 | 2,578,939 | 660,902 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,136 | 948 |
| 受取配当金 | 9,806 | 11,355 |
| 受取保険金 | 3,663 | 73 |
| 持分法による投資利益 | 74,109 | 47,050 |
| 為替差益 | 30,602 | 11,083 |
| その他 | 57,467 | 36,375 |
| 営業外収益合計 | 176,786 | 106,887 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 35,762 | 38,263 |
| 売上債権売却損 | 14,072 | 20,013 |
| その他 | 14,713 | 17,398 |
| 営業外費用合計 | 64,548 | 75,675 |
| 経常利益 | 2,691,178 | 692,114 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,992 | 2,807 |
| 投資有価証券売却益 | 1,157 | - |
| 補助金収入 | 252,480 | - |
| 特別利益合計 | 255,630 | 2,807 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 38,391 | 80,552 |
| 固定資産圧縮損 | 252,480 | - |
| 特別損失合計 | 290,871 | 80,552 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,655,938 | 614,369 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 678,914 | 415,294 |
| 法人税等調整額 | △22,669 | 1,662,277 |
| 法人税等合計 | 656,245 | 2,077,572 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,999,692 | △1,463,202 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 434,255 | 182,552 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,565,437 | △1,645,754 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,999,692 | △1,463,202 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 290,101 | 869,884 |
| 繰延ヘッジ損益 | 31,345 | 6,237 |
| 為替換算調整勘定 | 83,625 | △17,789 |
| 退職給付に係る調整額 | 36,070 | 35,012 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △50,935 | 192,654 |
| その他の包括利益合計 | 390,208 | 1,086,000 |
| 四半期包括利益 | 2,389,900 | △377,201 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,950,980 | △619,209 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 438,919 | 242,007 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,655,938 | 614,369 |
| 減価償却費 | 995,081 | 981,003 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △1,992 | △2,807 |
| 補助金収入 | △252,480 | - |
| 固定資産除却損 | 38,391 | 80,552 |
| 固定資産圧縮損 | 252,480 | - |
| 環境対策引当金の増減額(△は減少) | △1,100 | △261 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 950,976 | 907,732 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10,942 | △12,303 |
| 支払利息 | 35,762 | 38,263 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △1,157 | - |
| 持分法による投資損益(△は益) | △74,109 | △47,050 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,845,292 | 1,820,634 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △725,709 | 370,498 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △2,952,117 | △1,688,846 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △468,553 | △116,869 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 26,678 | 25,314 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △1,309,271 | △1,195,030 |
| その他 | 453,332 | 280,688 |
| 小計 | 2,456,497 | 2,055,888 |
| 利息及び配当金の受取額 | 51,310 | 59,518 |
| 利息の支払額 | △34,928 | △38,932 |
| 法人税等の支払額 | △2,457,935 | △151,044 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,944 | 1,925,429 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △230,000 | △598,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 230,000 | 598,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △600 | △590 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 5,307 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,358,887 | △1,400,432 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △81,435 | △48,169 |
| 貸付けによる支出 | △850 | △4,288 |
| 補助金の受取額 | 252,480 | - |
| その他 | 4,997 | △12,654 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,178,988 | △1,466,134 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △14,864 | △173,767 |
| 長期借入れによる収入 | 2,500,000 | 1,800,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △649,780 | △520,780 |
| 社債の償還による支出 | △21,560 | - |
| リース債務の返済による支出 | △161,902 | △158,932 |
| 配当金の支払額 | △481,668 | △401,390 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △172,000 | △200,000 |
| 自己株式の取得による支出 | - | △468,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 998,224 | △122,870 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △8,839 | △2,801 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,174,658 | 333,622 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 21,471,756 | 22,345,257 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 20,297,097 | 22,678,879 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。